

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：生体内組織形成術による成長する小児用人工弁の研究開発
2. 研究開発代表者氏名（所属）：佐藤 康史（旭川医科大学）

【評価（公開）】

バイオバルブ作製のための鋳型設計の最適化を行ったほか、作成したバイオバルブに性能を評価するなど研究開発計画を達成したと評価する。急性機能評価ならびに慢性機能評価において所期の機能を確認した。また、成長に合わせた血管径の拡張にも追従でき得る可能性を示唆する成果を得たところであり、更なる長期期間の評価により臨床応用の可能性が確固たるものになることを期待する。

以上